言語学 A 第 5 章: 使用域と文体

1 文体論

問 1 メールの文体と論文の文体について比較せよ。

問 2 文体はなぜ変わるのかを考えよ。

問 3 文体論は教科書の何ページに関連するのかを話し合え。

問 4 形式的文体、くだけた文体とはどんなものかを考え、例を出せ。

問 5 なぜそのような違いが出ているのかを考えよ。

2 使用域

問 6 「話しことば」と「書きことば」は同じかどうかを考えよ。

問 7 教科書で「話しことば」と「書きことば」についてどのように述べているかを探し、その説明について納得できるかどうかを話し合え。

問 8 言語の使用域は何によって変わるのかを考えよ。

3 内容語と機能語

問 9 内容語と機能語はどのようなものかを話し合え。

問 10 思い出すことができるのは内容語か、機能語かを考えよ。

問 11 内容語と機能語はコンピュータでどのように分類できるかを考えよ。

問 12 *tf-idf* について考えよ (Manning and Schütze 1999)。

$$tf\text{-}idf(t) = tf(1 + \log \frac{N}{df(t)})$$

ただし、N は全文書数、$df(t)$ は単語 t が見られる文書の数、tf は単語 t の出てきた回数である。

問 13 *tf-idf* の後半 *idf*, inverse document frequency (Robertson 2004) について具体的に考えよ。

問 14 term frequency （用語出現頻度）と document frequency （文書出現頻度）について具体的に一冊の本（教科書でも新聞でも何でも良い）を例に話し合え。

4 ピジンとクレオール

問 15 ピジンとクレオールに関する教科書のページを探し、それぞれの概要、違いについて、話し合え。

問 16 混声言語の例を見て、ピジンとクレオールについての感想を交換せよ。

問 17 どんな単語が聞こえたか。聞こえた単語に共通することは何か。

問 18　なぜピジンの現象が起こるのかについて、話し合え。

問 19　脱クレオールとは何かを、話し合え。

5　宿題

問 20　QR コードから Web ページにアクセスし、質問に答えよ（本日中締め切り厳守）。

Homework submission

参考文献

Manning, Christopher D. and Hinrich Schütze (1999) *Foundation of statistical natural language processing*, Cambridge, Massachusetts: The MIT press.

Robertson, Stephen (2004) “Understanding inverse document frequency: on theoretical arguments for IDF”, *Journal of Documentation*, Vol. 60, pp. 503–520.